

人としての性

山 口 雅 子

人としての性

山口 雅子

(愛媛大学大学院医学系研究科)

Sexuality

Masako YAMAGUCHI

(Ehime University Graduate School of Medicine)

はじめに

「こころと健康」は共通教育の「教養コア科目」として愛媛大学の入学生全員が受講する選択必修科目である。医学部では10クラスを分担している。講義は2から3コマ程度の授業を1ユニット(テーマ)とする準オムニバス授業である。筆者は、昨年に引き続き2クラスを担当している。昨年度は5コマを1ユニットとして2クラス講義したが、本年は2コマを2クラス分担した。

消費者金融、マルチ商法、振り込め詐欺や悪徳商法などについて学び経済破綻しない生き方を選択できること、カルト集団等について学ぶこと、そして健康について学ぶことは、大学生の教養として身につけておくべきことであると考えている。本学の「こころと健康」が「教養コア」科目と位置づけられていることは、望ましいことである。学生には生涯を通じて自らの健康を管理できるような資質や能力を身につけて社会に巣立ってほしい。

生活習慣病を未然に防ぐための健康的な生活について学ぶことは重要であるし、疾病の早期発見について学ぶことも必要である。筆者は医学部で母性看護学を担当している。母性看護学の立場から、学生に学んで欲しい人としての性について講義した。履修生191名のうち134名から提出された講義の感想を中心に報告する。

性と生殖に関することを講義する意義

小学校では体育科の「保健領域」、中学校では保健体育科の「保健分野」、高等学校では保健体育科の科目「保健」の授業等で性と生殖についての単元がある。性についての授業は、高校生までは具体的な内容にすることが難しく現実感のない内容になることが多い。大学生は、近い将来、社会人となり結婚を控えているが、以前のように婚前学級が保健所等で開催されることもほとんどなく、大学での講義が性や生殖について学ぶ最後の機会であるとも言える。一部大学生の性行動は、親元から離れることもあり活発化しており、性感染症や望まない妊娠に悩む学生もいる。大学生には予防対策や治療など具体的に性に関して講義することができ、学生自身も自分の身近なこととして捉えることができるので学習意欲は高くなり大学生に性と生殖に係わる講義をする意義は大きいと筆者は考えている。

学生の知識レベルを知るため、講義前に学生の性に関する知識や考え方について小試験を実施した。人工妊娠中絶が可能な時期について、妊娠22週未満と正答したものは127名中23名である。正答率は19%である。

性器クラミジアについて知るところを記載させたが7名がクラミジアの特徴について答えたに過ぎず正答率は5%である。クラミジアは、クラミジア・トリコモナスによる感染症で、最も感染者が多い。クラミジア感染症は特に男女ともに性活動が活発な若年層に多いが、女性の患者数は男性を上回ってい

る。無症状のことが多く、無自覚のまま性交渉の相手に感染させ、妊婦が感染していれば児に感染させることもある。子宮頸管炎、卵管炎などをおこし将来、不妊症を招くことが憂慮されている。

性感染症とは性行為によって伝播する疾患である。性感染症を防ぐには予防教育が重要であるが、受講生の知識レベルは十分な物とは言い難い。

避妊についての考え方を知るため避妊の責任は、男性、男女あるいは女性にあると思うか記載させた。男性と解答したものは14人(11%)、他の学生は男女と答えた。男性に責任があると答えた学生は、全員男子である。男女と答えたもののなかに男女であるが男性の比重が高いというものも含まれる。避妊に失敗すると女性側に圧倒的に負担が大きくなり、女子学生から女性に避妊の責任があるという意見がでてでも良いと筆者は考えているがそのような解答はなかった。学生全員、避妊の責任は自分の性あるいは両性であると考えている結果が示された。避妊は相手任せと考える学生は一人もおらず、避妊について学ぶ姿勢は真剣なものであると推察される。

講義の内容

1. 生命倫理

人工妊娠中絶や不妊治療、借り腹、精子バンク、卵子バンクについて問題提起し、胎児模型で胎児の発育状況を確認させた。筆者はJICAの母子保健の短期専門家として中華人民共和国に出向いた経験から人口政策に国家の権力が介入する現状について話した。

学生の感想である。

- 「仮腹」が貧しい人とかの子宮を買うということだとは思っていませんでした。でも、自分が今、子宮をなくしたらすごくいやだし、やっぱり子供が欲しいと思ってしまいます。多分。そういった女性や夫婦の意思是、仕方ないからといってあきらめる方向へもっていくべきなのではないでしょうか。主観的に考えたら、欲しいけど、客観的に道徳上の判断をしたら、やっぱり「仮腹」は変かなと思います。難しい問題だと感じます。
- 中国の話聞いた時は、本当に腹が立った。子供は親を選ぶことは出来ないが、また、国も選べないのだと実感した。しかし、人口等は時に国全体

にマイナスの効果をもたらす事もあるだろう。しかし、国の健康は国民の健康でもあると思うので、家族計画が正しく行われれば、国全体にそれほど大きな影響はないのではないか。

2. 子を持つということ

おむつ交換は15.7%、赤ちゃんを抱くは68.5%が経験している。新生児人形を抱く経験をさせた。新生児(生後一月以内)を抱いた経験のあるものは少ないと思われる。対児感情や育児動機は、乳幼児と接した経験がある者に肯定感情が高い結果が明らかとなっている。赤ちゃん人形に関する学生の感想を読むと赤ちゃん人形を抱くだけでも対児感情や育児動機が向上しているのではないかと推察される。人形であるが赤ちゃんの重さを抱いてみて実感し、赤ちゃんのいとおしさ、ここまで育ててくれた親への感謝の気持ち、自分が親になるということの責任など赤ちゃん人形を抱くという行為だけでも学びは大きく、赤ちゃん人形でも学生の心に響くものがあることが示された。育児放棄・虐待などの防止の面からも自分の子育て前に乳幼児との接触経験は大事だと考えられる。

学生の感想である。

- 赤ちゃんの人形を抱いてみて、結構重たいなと思いました。自分が赤ちゃんだった時、母はいつも自分を抱いてくれていたと思うと、大変だったろうなと思うと同時に感謝の気持ちがわいて来ました。
- 今日、赤ちゃんの人形を抱いてみて、また最近親の手がかかる子供をみていると、自分の親へ「育ててくれた感謝」の気持ちを持てるようになってきた。自分も親になったとき、育児放棄することのないように今勉強していこうと思いました。
- 今まで赤ちゃんを抱いたことがなかったので、重さに驚いた。どこもかしこもふにゃふにゃしていて、恐かった。こんな頼りない生き物を育てられる「お母さん」はすごいなと思った。
- 赤ちゃんの人形がとても重くてビックリしました。あんな重いものを毎日毎日抱きしめて育ててくれたお母さんに感謝です。「母は強し」って言葉がありますが、あんなものを守ろうと思うとやっぱり強くなりそうです。私は大切に育てられてきたので、やっぱり望まれない子とかあまりピンときません。でも、少なくとも自分は子供がで

きた時大切に育てたいと思います。

- 赤ちゃんの人形を抱いてみて、意外と重いことに驚きました。私は今まで、抱いたことがなかったので、抱き方がわからず、友達のみようみまねで抱いてみたのですが、難しいです。頭がくらくらゆれて不安になりました。でも、小さい手や足をみていると本当にかわいいんだろうなと思います。今からでもしっかり赤ちゃんについての知識を学んで、対処したいと思います。
- 今まで体のことについてたくさん習ってきましたが、ここまで詳しく教わりませんでした。今回改めて赤ちゃんを抱っこしてみて、赤ちゃんの重さを感じ、妊娠することの大きさを知ることができました。女として自分の体を守るためもあるし、赤ちゃんを守るためにたくさんの知識をつけていきたいと考えました。きちんと家族計画を立てて、誰も悲しい想いをしなくていいようにしたいと感じました。

この他20名ほどの学生が赤ちゃん人形に関しての感想を記述している。

3. 基礎体温

基礎体温を測定することで排卵の有無や黄体機能をわかる。基礎体温は女性の健康管理に利用できる。排卵の時期を知ることで妊娠しやすい日が判明し、子どもが欲しいとき、あるいは子どもが欲しくないときの家族計画に利用できる。基礎体温測定により女性として自分の体に起こる周期的な変化を知ることができる。女性として基礎体温の測定は習慣として実行して欲しいと考えている。男性も自分のパートナーの性周期を知ることは有用であることなどを説明した。学生の感想である。

- なぜ基礎体温法が有効なのかよく知らなかったが、今日の講義で初めてわかった。基礎体温を知ることが、避妊だけでなく自分の生理不順や体調管理にも役立てられるので、ぜひ実践したいと思う。

同様の意見が数名ある。

4. 家族計画

家族計画の基本理念は、「生まれてくる子どもは、すべて待ち望まれた子どもでなければならぬ」である。子どもを望むときに得ることであり、望まないときには妊娠を避けるために避妊をおこな

うという意味である。これは高校生だから、大学生だから、未婚だからということではなく、生殖年齢にある者の性行為には必須のことであるということを知り、学生に理解させた。職業人としてのキャリアと出産時期の調整、子どもの出産間隔などを考える必要性について講義した。予期しない妊娠のもたらす悲劇について話した。家族計画は学生に最も伝えたい内容である。各種避妊法に関する資料を配付した。

5. 葉酸

妊娠可能な年齢の女性に対して、神経管閉鎖障害(二分脊椎・無脳児等)の発症リスクを低減させることについて葉酸摂取が重要である旨を周知するように厚生労働省から通達されている。葉酸の代謝物が神経管閉鎖障害の発症機序に関与するという医学的な根拠が示されており、妊娠を計画している女性は、神経管閉鎖障害の発症リスクを低減させるために、妊娠1か月以上前から妊娠3か月までの間、葉酸をはじめその他のビタミンなどを多く含む栄養のバランスのとれた食事が必要であることを知っておく必要がある。妊娠に気づいてからでは手遅れであり、大学生が葉酸摂取について学ぶことは、絶好の機会である。

6. 性感染症

ビデオ教材を使って性感染症について理解を深めさせた。「しのびよる性感染症」(東映・教育ビデオ)21分、HIVやクラミジアなどの性感染症は特定の人が罹る病気ではないことを示したビデオで強く予防の大切さを訴えた内容である。

学生の感想

学生の感想を読むと概ね筆者が学んで欲しいことをつかんでくれたように思われる。友人・知人に自分の得た知識を伝達したいという頼もしい感想もあった。避妊と性感染症予防を混同するなど彼らの性に関する知識は不十分であることが明らかとなった。

一教員として、人生の先輩として、一人でも知識のなさから不幸になる学生が減少することを願っている。

- 中学や高校で習ったうろ覚えの知識を再確認することができてよかったです。自分の身体や他人、

子供にも関わる大事な知識ばかりだったので、きちんと覚えておきたいと思います。将来はきちんと家族計画を立てて、子供ができれば、大事に育てたいと思います。自分の行動に責任を持って、正しい生活を送っていくよう努めていきたいと思っています。

- 避妊法の名前は高校の授業で習って知っていたが、具体的にどのようなことをするのかはこの授業で初めて知った。また、ピルを使うことで避妊はできても、性感染症の防止はできないということも初めて知った。今日の授業で自分は性についての知識がまだまだ足りないことがわかった。いつか彼女が来て、相手を傷つけないためにも、もっと勉強しなければならないと思った。
- 性感染症については高校の時から学んではいたが、まだ関係ないと考えていたが、これからはしっかりと考えていかなければいけないと思った。また、性病についても病名は知ってはいるが、その症状までは詳しく知らなかった。性病になればお互いつらいと思うので、避妊は必ずするべきだと思う。もし、今の年代で妊娠をさせるようなことになれば、働くこともできないし、必ず育てていけるという環境を作った上で子供を産むことを考えるべきだと思った。
- 今までに何度も性についての講義をうけたことがありますが、避妊法についてこんなに詳しく学んだことがなかったので、とても参考になりました。また、避妊だけでは性感染症を防ぐことが出来ないと知り、おどろきました。また、避妊法の併用などによって、妊娠の確率をより低く出来ると知り、参考になりました。年齢、出産の有無によってより適した避妊法を選んでいく必要があると思いました。今後とても参考になる講義でした。高校などで学んだときよりも深い内容について知ったので、こういった問題の深刻さを改めて認識した。
- この2回で様々なことを学べてよかった。性感染症はHIV以外はさほど知らず、クラミジアについては全く知らなかったので、ビデオや説明をしてくれて知識を増やすことができた。また、避妊法の種類についても細かく様々な場合を学べたので、良かった。
- 予想通り男性に出来ることは少ないので、この先、性交をする場面に出会った時は相手のことを

しっかり考えて行動しなくてはならないと思った。また、性交をする場合はお互いによく話し合った上で、しっかりと未来を見据えて行動することが大事だと思った。

- エイズをはじめとする性感染症が、自分のすぐ近くにあり、自分にも十分起こりうることであり、という事実がとても恐ろしかった。同時に感染者を特別な目でみるようなことはあってはならないと思った。自分の安易な行動が望まない出産を招いたり、性病を広めてしまったりすることのおろかさを感じた。“今さえ良ければいい”という気持ちだけは捨てたいと思った。
- SEXは安全に、計画的にしなければならないと思った。自分ひとりではなく、パートナーや親、時には職場や仲間にも影響がある場合があるから、無計画な“できちゃった婚”などはあまり好ましくはない。
- 避妊の大切さがわかりました。また、知識があるのとならないのでは大違いだと思うので、今日教えてもらったことをしっかり心に留めておきたいです。エイズや淋病など、私にとっては全く無縁だと思っていたのですが、どこに危険が転がっているかわからないと知りました。自分の身は自分で守っていかなければと思いました。貴重なお話ありがとうございました。
- 性感染症は自分には関係ないと思っているところがある。だが、実際に感染した人がみな口をそろえて「なぜ私が」と言っているのをテレビなどでよく聞く。真剣に考えなければいけないことなのだろうと感じる。この講義では、より一層性感染症を自分に関係あるものとして受け止めなければならぬと感じさせられた。望まない妊娠・出産について深く考えていきたい。
- 性感染症はすごくこわいと思った。特にHIVは自分が10年も気づかないまま、どんどん体の免疫が支配されていっているなんて、大変なことだ。その10年の間にもどんどん感染症患者を増やしていっている。日ごろから自分の体を大切に、気をつけていきたいと思った。
- 性病や妊娠は大学生にとっては重大なことだと感じます。親元から離れ、下宿する学生が多いからこそ、正しい知識を持ち、自分の行動には責任を持つべきだと思います。女として、命を宿せる身体をもった以上、自分の体のことやパートナーの

- 体を大事にしようと思いました。
- 私たち若い人は性に対してあまりに知識がないと改めて実感しました。今は若い人の妊娠、そして中絶が増えてきているのもそのせいだと思います。私は学習していても、安易な気持ちで受講しているので、減らないのだと思いました。だから、生まれてくる子供のことも考えないで、こんなことが出来るのだと思いました。虐待が起こるのも不本意な出産によって起こるのでは生まれてきた子供が、あまりにもかわいそうです。だから私たちは良く考えて行動するべきだと思います。
 - 大学生は特に気をつけなければならないと思いました。一人暮らしをして、自由が多くなるにつれ、自分で自分の行動を規制する責任があると思いました。
 - 2回目の授業だけ参加したけど、性感染症の恐ろしさを改めて実感しました。性は真面目に考えないといけないと思いました。他の授業で虐待を勉強したので、望まれない子供について、もっと深く考えたいです。
 - 性感染症は本当に怖い。でも、誰におこるかわからない。自分がかかってしまっても、身近な人がかかってしまっても、ちゃんと現実を受け止めて、前に進む強さをもっていないといけない。きちんと予防して、自ら自分の体そしてパートナーの体も守らないといけない。性行為をする時は、それ以後のことにも責任を持てるかきちんと自覚しなければならないと思った。
 - エイズやクラミジアについて理解が深まって、他人事じゃないという意識がもててよかったです。性感染症に自分が気をつけると共に、周りの人にも気をつけるように呼びかけたいです。また、自分の子供は絶対に望んで生まれる子にしようと思いました。
 - ビデオを見て、性感染症について真剣に考えなければならないなあと思いました。やっぱり症状が出にくいから発症しやすいんだなあと思います。いのちに関わることだから、真剣に向き合っていくべきだと思います。
 - 性感染症が思っていた以上に広まっていることに驚きました。自分のことや相手のことを、もっと考えていく必要があると思いました。正しい知識を身に付けていくことが大切だと思います。
 - 性病や妊娠に関する講義はとてためになりましたし、退屈せずに真剣に聞くことが出来ました。性行為の問題はこれから先の未来において切っても切り離せない問題だし、一個人だけの責任では済まない状況も多々あると思うからお互いが性に関する知識を持つ必要があるのだと感じた。
 - 前回、今回を通じて性に対する関心が強くなりました。私の周りにも性病にかかっていた友達がいるけど、最悪エイズもかかる可能性があると感じて知り、ぞっとしました。これからは今まで以上に気をつけて行動をしていきたいと思います。
 - 避妊については女性だけでなく、男性も考えなければいけないことを改めて思いました。
 - 特に避妊についての知識を得たことがこの授業の一番大きな意味になった。1年生でまだ社会にでるのは4年後、6年後になると思うが、今赤ちゃんが出来たとしても、経済的に無理だと思うので、避妊をしっかりとしたいと思った。また、家族計画についても今後の参考にしたい。
 - 先週と今週の授業で性病の恐ろしさを改めてわかることができました。特に、授業中に見たビデオはすごく強烈でした。映像で見るとすごく生々しくちょっと気持ち悪かったです。今、性病が身近なものになってきています。ビデオでもあったように、自分は大丈夫だろうという安易な気持ちでいるのではなく、自覚をもっていきたいです。
 - 望まない子供を生まないためにも、避妊はとても重要なことだと改めてわかった。どの避妊法も絶対に避妊できると確信できることではないので、ちゃんとリスクを考えないといけないと思った。また、性感染症に自分の知らない間にかかったりし、気づかずに大変なことになったりしてしまうので、注意がとても必要だと思った。お互いの協力が必要だと思った。
 - ただなんとなくだった知識が、はっきりとしたものになった。自分も子供を望んで産みたいと思う。だから、今回の講義の内容をきちんと理解し、自分のため、相手のため、なによりこれから出てくる子供のために、気をつけていきたいと思う。
 - この授業を通して、今までに知っていた知識もあったけれども、それ以上に知らなかった知識を得ることが出来ました。様々な情報がある中で、正しい知識を得てから、行動したいと思いました。一つの過ちが多くの人を悲しませたりするこ

- とになるので、自覚を持って行動したい。
- この授業で性についてのこと、性感染症、避妊法などのことについてわかった。いろいろと知らないことがあったので、興味深い授業だった。これからの生活に活かしたい。避妊法について、いろいろな方法があり、どれも確実性が100%でないということで注意しなければならないと思った。
 - 「生まれてくる子供は、すべて待ち望まれてこなければならぬ」という言葉は今回の講義の中でも印象的な言葉だった。そのため、子供を望まないのならきちんと避妊しないといけないなあと思った。避妊の種類にもいろいろあるということがあるとわかってよかった。中でも女の人の基礎体温を知っておくということは重要だと思う。性感染症についても今回たくさんのが学べたと思う。まだまだ名前は知っているがその病気の症状などわからないものはたくさんある。そのような病気は自覚なしに進行するので、とても恐ろしいものだった。
 - 今回この講義をきいて、自分が知らないことがたくさんありました。特に性感染症については名前ぐらいしか知らないことが多かったです。性についてはまだ考えたことがなかったのですが、これからのこともあるので、真剣に考えて生きたいと思いました。そして、周りの友達でもし困っていたり悩んでいたりする子がいたら、力になってあげたいなとも思いました。
 - 今回の講義やビデオを視聴して、性病やHIVのおそろしさについてあらためて痛感した。それらを防ぐためにはコンドームが最も有効であるので、必ずセックスを行う時はコンドームを正しい使用方法で付け、セックスを行いたい。また、妊娠を防ぐために、必ず相手の意見もきちんと聞かなければならない。また、性に関する知識を増やし、これから正しいセックスを行いたい。
 - 子供が生まれないということも人によって考え方が違うのだと思う。
 - ビデオを見て、10代の性感染症の人数が多いという現実を改めて実感した。また、妊娠しやすい時期としにくい時期というのは本当にあるということも知った。避妊の対策をするのは自分のためでもあり、生まれてくる子供のためでもあると思った。
 - 性病や意図しない妊娠についての問題などを新しく知ることができた。また、現在の人々の考え方も知り、そこからどのような問題が来ているのかも知った。性交の低年齢化による意図しない妊娠、性病にかかることなどの対処法を知り、現在の状態を考えさせられたと思う。かなり大きな社会問題になっているようで、自分も気をつけなければならないことを実感した。
 - 今回の授業を通じて、改めて避妊の大切さを知りました。性感染症は遠い存在じゃないんだということをしっかり頭にいれておきたいです。様々なリスクもあることも知りました。HIVもだいぶ有名になったかもしれないけれど、恐ろしい病気なのは間違いないので、自分の行動にきちんと責任をもたないといけないなと思いました。一番重要なのはお互いを思いやる気持ちだと思います。
 - 避妊法や性感染症について大変勉強になりました。
 - この授業に参加してよかった。以前、私は妊娠とか避妊法などについては、あまりわかりませんでした。授業を受けてほしいわかるようになりました。どうもありがとうございました。
 - 避妊はとても身近な問題で、中学・高校で学んだことを再確認できてよかったです。姉に子供がおり、その子や姉、周りの人たちの幸せそうな顔を見ると、子供は愛されるべくして生まれてくるのであって、避妊してないことで生まれず生まれてくる子供がいてはならないと思いました。
 - 性感染症のことについてよくわかりました。意識も非常に高まったと思います。自分を守るだけでなく、人にうつしてしまわないようにするためにも避妊は大切だと思いました。
 - 思っていたよりも避妊って難しいんだなって思った。自分がもしなったら…と考えると怖いけど、他人にうつしたらいけないから病院へ行くべきだと思う。将来、子供が産めないというのは女性にとっても、相手にとっても残念なことなので、もし、性交をするのなら気をつけたい。性病になったら、性器だけに異常が出るのかと思っていたけど、目の粘膜や口にもうつることに驚いた。意外と身の回りに性病が蔓延しているを知って、怖いと思うし、やっぱり当然のことながらパートナーは一人にすべきだと思う。
 - 性感染症について、ほとんどの人が軽視しすぎだと思う。避妊法としてピルはすごく効果的だけ

ど、性感染症は防げない。避妊をする時は病気のことも考えて、コンドームとピルを併用すべきだと思う。自分の体を守るの自分しかいないのだから、きちんと性行為について理解しなければならない。この授業を通して、自分が気をつけなければならないことを再認識できてよかった。私だけにとどめるのではなく、友達にもこの話をし、性について考えてほしいと思う。

- 命の大切さを知りました。また、赤ちゃんに対する意識も高まったような気がします。みんなが幸せであるために適切な選択をしてほしいです。
- この授業を受けて、性病に感染したことに気づかないで、HIV感染者は世界に4,000万人もいることに驚いた。最近では、コンドームを使わない人が増えて女性にまかせるのではなくお互いに避妊しなければならないと思った。
- 生まれてくる子供はもちろん望まれて生まれるべきだが、性行為に対する甘さから、望まれずに妊娠してしまうと、様々なりスクがある。親になるという自覚のないまま出産してしまうと、育てる環境がきちんとできていなかったり、最悪、育児放棄や虐待という行動に進む危険性もある。そのようなことにならないためにも、計画的な家族計画が必要であり、避妊をきちんと行う必要があるということを今回の講義で学んだ。
- あまり自分から深く親とかに聞くことが出来なかった分野だけに、良い講義だったと思う。
- この講義を聴いて、避妊の知識が増えたとし、改めて避妊の大切さがわかった。中絶は赤ちゃんを殺すものだとかえるとかなり残酷なものだと思う。あと、自分や自分のパートナーのためにも、性病についての知識は必要だと思ったし、症状が出た場合はすぐにパートナーに伝えるべきだと思った。
- 講義を聞いて、とても避妊の知識がついたと思う。適切な性交をしないと、性病にかかる危険があることがわかった。
- 性病は色々な種類があり、どれも危険なものが多いが、どれもきちんとした知識さえあれば対応できるとわかった。また、避妊にも多くの種類があるが、どれも完璧な避妊効果は得られないので、併用し、その確立をあげるべきだと思った。
- この授業を受けて、子供は望まれて生まれるべき

ものであると思いました。特に、性感染症を予防するという意味でも、コンドームによる避妊は大切だとわかりました。やはり、パートナーがお互いに理解しあうことが重要であると思いました。

- 意図しない妊娠が及ぼす影響や性病についてわかった。
- 今回の講義は勉強になった。よく知らないこともあったが、理解することが出来たと思う。性病についてはほとんど知識がなかったので、初めて知ったことも多かった。この講義を通して赤ちゃんを産むことはとても重大なことで、簡単に決断したりするものではないと思った。
- 性感染症の感染者が増加していることや、避妊法などがわかった。性感染症なんて絶対かからないと思っていたけど、だれでもかかる可能性があるというのを聞いて、気をつけないといけないと思った。性について学ぶ機会が少ないので、いい勉強になった。
- ビデオや話を聞いて感染症や望まない妊娠について改めて、怖いものなのと思った。しかし、避妊具を用いたりして、防ぐことができるということを知った。そういった知識をしっかりと学んで、性行為などをする際は細心の注意を払わないといけないと思った。
- これまでの2回の講義で、性についてよくわかった。主に、避妊や性感染症について学ぶことが出来た。性感染症は自分が気づいていないところで感染していることが多いと知った。また、HIVなどは、感染してもすぐに発病するわけではなく、数年の潜伏期間があり、気づくのに6、7年かかったという人もいて驚いた。また、最近の性交では、ピルによる避妊法により、妊娠はよくおさえられたが、コンドームの使用が減ったことによって、性感症によりかかりやすくなったと知った。性感染症の問題はこれから考えていかなければいけないと思った。
- 避妊法などわかっているようで、あまり理解していないというのを実感しました。やはり男性より女性のほうがリスクは大きいので、きちんとこの講義で学んだことを活かしていきたいと思いました。